

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年10月31日（木）
- 2 確認箇所
定検機材倉庫B（図1）
- 3 確認項目
横置き型ブルータンク除染・解体設備の設置状況

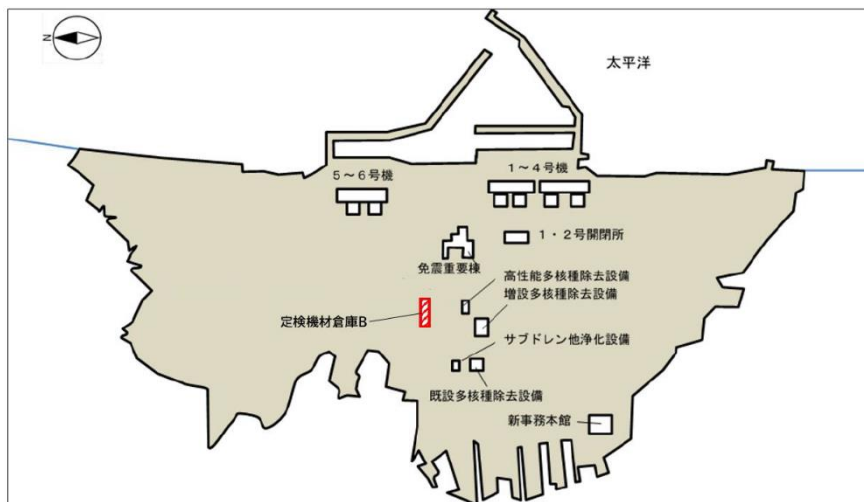
4 確認結果の概要

横置き型ブルータンク（以下「ブルータンク」という。）は、震災直後に増え続ける建屋内滞留水の移送先として使用されていた。しかし、敷地利用の観点から縦型溶接タンクへの移行が進み、現在当該タンクは、使用されず貯留水を排水の上、福島第一原子力発電所構内に、仮置きされている。

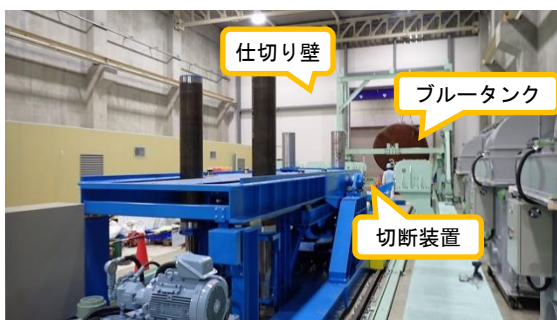
東京電力は、定検機材倉庫B内にブルータンクの除染・解体設備を設置し、全367基の除染・解体を今年度から実施する計画としている。今回は、前回に引き続き、計画の進捗状況について確認した。（前回確認：[令和6年9月25日](#)）

- ・ 定検機材倉庫B内は、大きく4つのブース（搬入ブース、切断ブース、FRP*剥離ブース、搬出ブース）に分けられており、それぞれのブースで設備設置作業が進められていた。（写真1）
- ・ 除染・解体試験（モックアップ）に用いる汚染のない未使用タンクが搬入ブースに搬入されていた。（写真2）
- ・ 東京電力は、汚染のない未使用タンクを用いたモックアップを11月頃から実施するとしている。また、使用済みタンクの除染・解体を今年12月に開始し、令和8年度末頃までに完了する予定としている。

※FRP：プラスチックにガラス繊維や炭素繊維などを混合して強度を向上させた強化プラスチックの総称。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
定検機材倉庫B西側の状況
※仕切り壁奥：搬入ブース
※仕切り壁手前：切断ブース



(写真1-2)
定検機材倉庫B東側の状況
※仕切り壁手前：FRP剥離ブース
※仕切り壁奥：搬出ブース



(写真2-1)
搬入ブースにおけるブルータンクの状況①
※茶色く見えるのはブルータンクの鋼材。青い塗装は剥ががしている。



(写真 2 - 2)

搬入ブースにおけるブルータンクの
状況②

※タンクの全長は約 13.5m、直径は約
3.2m

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。